

1. 本授業科目の基本情報			
講義名 (コード)	TCM215	TCM_キャリアデザインⅢ	
科目名 (コード)	TCM215	TCM_キャリアデザインⅢ	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CM2	単位数	2単位30
授業担当者	川本 千陽	時間数	
成績評価教員	川本 千陽	講義期間	春期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	学内に招致する企業・学校を調べ、主体的に就職活動や進路先を主体的に調査・発表する。
全体の内容と概要	将来のキャリアプランを主体的に考え、卒業後の進路を決定するために行動する力を身につける。
授業時間外の学修	グループワーク、発表準備、授業課題
履修上の注意事項等	進捗の状況により変更する場合があります。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	卒業までの工程を具体化し改めて目標を確認する。	進路希望調査/進路希望ごとにグループ分けして、各自の進捗状況について話し合う。マンダラチャートを使って具体的な行動計画を作る。
2	グループワーク（基礎）	進路希望「進学（大学・大学院）」「進学（専門学校）」「就職」「起業」「海外留学」それぞれに分かれて自分の現在の取組みについて話し合う。
3	進学についての理解を深める①	3年次編入（国内・海外）の条件、費用、出願方法について調査する。編入先大学の情報をホームページ、進路サイトを通じて調査する。
4	就職についての理解を深める①	企業採用担当者から会社説明をしていただき「仕事のやりがい」「働き方」「募集条件」「今後の展望」「求められる人物像」を聴き、進路選択に活かす。
5	起業についての理解を深める①	起業までのプロセス、法的要件、外国人が企業するための手続きについて調査する。
6	グループワーク①	進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。
7	企業研究を通じて社会を知る。	会社情報を知り、自己の適性を考える。ホームページや就職情報サイト等を通じて企業の魅力を知り応募する場合の書類を作成する。
8	ハローワークについて理解する。	公共職業安定所（ハローワーク）の登録方法、求人票の見つけ方、面接対策、セミナー活用法を学ぶ。
9	ハローワークについて理解する。	ハローワークの担当者より活用法を学ぶ。
10	グループワーク②	進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。
11	在留資格について知る。	在留資格変更許可申請の方法を知る。実際に在留資格変更許可申請書を書く。
12	グループワーク③	進路希望ごとにグループワーク。自身の課題を洗い出し「情報収集」「選考対策」「合格後のキャリア」について討議する。
13	グループワークで話し合った内容を個人発表する。	個人発表をもって期末試験とし評価対象とする。ひとり当たり3分でまとめる。
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	